

## 平成22年度下半期

# 那珂市の財政事情

### 一般会計

一般会計は、市の基本的な経費を計上しています。一般会計の歳入歳出予算の執行状況は、予算現額合計に対する収入済額の割合が89・1%、支出済額の割合が74・5%となっています。支出済額の割合がやや低いのは、東日本大震災により年度内に完了できず、翌年度へ繰り越す事業があるほか、災害復旧のための補正予算の支出が、事務手続きの都合で4月以降（出納整理期間（注1））になるためです。

歳入では、配当割交付金や財産収入などが予算額を大きく超えて収入されています。これは、原資となる県民税配当割の税収が見込額を上回ったことや土地（市有地）の売り払いによる収入が見込み額を上回ったことによるものです。一方で、繰入金や県支出金、市債の収入割合が低くなっています。これは、財政調整基金からの繰り入れや県支出金の交付、市債の借り入れが、事務手続きの都合で4月以降になるため

です。また、株式等譲渡所得割交付金の収入割合が低くなっているのは、株式等の譲渡が見込みを大幅に下回ったことによるものです。

歳出では、土木費が47・3%、農林水産業費が56・3%の支出割合と低い執行状況となっています。これは、下水道事業特別会計や農業集落排水整備事業特別会計への繰出金の支出が事務手続きの都合で4月以降になることのほか、震災により翌年度に繰り越して実施する事業があるためです。

なお、このほかの歳出科目の未払金については、出納整理期間に支払われる予定です。

※注1 出納整理期間とは、会計年度終了後の翌年度の4月1日から5月31日までの期間をいい、年度末までに確定した債権・債務を完了させ、現金の未収・未払いの整理を行う期間です。

市では、市民の皆さんに財政状況をお知らせし、市政運営の状況をご理解いただくとともに、豊かで住みよいまちづくりに一層のご協力をお願いするため、毎年2回、財政事情を公表しています。

地方自治体では、4・5月の出納整理期間に収入・支出の整理ができるため、最終的な決算額は5月末日に確定します。そのため、今回は3月末現在における予算の執行状況や市有財産の現在高などについてお知らせします。なお、最終的な決算額については、「広報なか11月号」で掲載する予定です。

■一般会計歳入予算執行状況

（単位：千円、%）

歳入科目	予算現額	収入済額	収入割合
市 税	6,825,247	6,792,103	99.5
地 方 譲 与 税	293,001	306,718	104.7
利 子 割 交 付 金	19,411	20,404	105.1
配 当 割 交 付 金	4,194	9,255	220.7
株式等譲渡所得割交付金	8,705	3,529	40.5
地方消費税交付金	431,466	446,582	103.5
自動車取得税交付金	64,600	66,821	103.4
地方特例交付金	99,683	99,683	100.0
地 方 交 付 税	3,831,912	4,009,617	104.6
分 担 金 及 び 負 担 金	298,251	262,096	87.9
使用料及び手数料	198,523	196,397	98.9
国 庫 支 出 金	2,462,062	2,107,957	85.6
県 支 出 金	1,108,980	452,094	40.8
財 産 収 入	11,391	48,823	428.6
繰 入 金	432,398	4,084	0.9
繰 越 金	952,736	952,736	100.0
諸 収 入	406,493	417,108	102.6
市 債	2,148,643	1,268,843	59.1
そ の 他	10,643	10,069	94.6
合 計	19,608,339	17,474,919	89.1

## 特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計から分離して別に収支経理を行う会計です。特別会計の歳入歳出予算の執行状況は、予算現額合計に対する収入済額の割合が67・9%、支出済額の割合が82・2%となっています。

歳入では、下水道事業、農業集落排水整備事業および上営谷駅前地区土地区画整理事業において、県支出金の交付や市債の借り入れが、また、下水道事業および農業集落排水整備事業においては、一般会計からの繰り入れが、事務手続きの都合で4月以降になるなどの理由で収入割合が低くなっています。

歳出では、下水道事業および農業集落排水整備事業において、災害復旧のための補正予算の支出が、また、公園墓地事業においては、一般会計への繰り出しが、事務手続きの都合で4月以降になることから支出割合が低くなっています。また、那珂地方公平委員会において支出割合が低いのは、平成22年度中に委員会を開会する必要がなかったという理由からです。

このほかの特別会計の未払金については、出納整理期間に支払われる予定です。



## ■一般会計歳出予算執行状況（単位：千円、%）

歳出科目	予算現額	支出済額	支出割合
議会費	208,508	193,835	93.0
総務費	2,962,873	1,913,332	64.6
民生費	5,176,796	4,408,967	85.2
衛生費	1,233,838	1,135,803	92.1
農林水産業費	848,708	477,577	56.3
商工費	186,156	152,507	81.9
土木費	3,154,277	1,493,523	47.3
消防費	1,032,209	938,501	90.9
教育費	2,639,505	1,887,986	71.5
災害復旧費	108,717	0	0.0
公債費	1,991,044	1,976,888	99.3
その他	65,708	27,511	41.9
合計	19,608,339	14,606,430	74.5

## ■特別会計歳入歳出予算執行状況（単位：千円、%）

会計名	予算現額	収入済額	収入割合	支出済額	支出割合
国民健康保険（事業勘定）	5,027,011	4,624,137	92.0	4,552,648	90.6
老人保健	13,957	12,675	90.8	12,676	90.8
下水道事業	2,363,752	618,017	26.1	1,567,113	66.3
公園墓地事業	15,097	18,298	121.2	3,037	20.1
農業集落排水整備事業	1,292,568	247,661	19.2	663,431	51.3
介護保険（保険事業勘定）	3,271,311	2,675,261	81.8	3,001,420	91.7
上営谷駅前地区土地区画整理事業	356,849	42,498	11.9	276,411	77.5
後期高齢者医療	426,342	426,040	99.9	415,341	97.4
那珂地方公平委員会	450	754	167.6	58	12.9
合計	12,767,337	8,665,341	67.9	10,492,135	82.2

## ■市税負担の状況

税目	収入済額（千円）	1世帯あたりの負担額（円）	1人あたりの負担額（円）
市民税	2,754,570	131,552	49,234
固定資産税	3,276,148	156,462	58,556
軽自動車税	113,272	5,410	2,025
市たばこ税	339,081	16,194	6,061
都市計画税	309,032	14,759	5,523
合計	6,792,103	324,377	121,399

※世帯数20,939世帯、人口55,949人（平成23年3月31日現在）

## 市税負担の状況

市の財政は、市民の皆さんの直接・間接の負担により賄われています。なかでも、市税は、財政運営上極めて重要な歳入であり、常に適正公平な賦課徴収に努めています。平成23年3月31日現在における市税の収入済額は、67億9210万3千円で、1人あたり12万1399円を負担していただいたこととなります。

## 市債現在高

市債は、大規模な事業を実施した際に、国や民間の金融機関から借り入れた資金であり、公債費として支出し返済しています。

平成22年10月1日から平成23年3月31日までに、臨時財政対策債や土地画整理事業債として13億1,947万3千円を借り入れた一方で、14億1,149万6千円の元金を返済したことにより、平成23年3月31日の現在高は、323億4,854万9千円となりました。

## 一時借入金

一時借入金は、会計年度中に一時的に収支の不均衡を生じ、歳計現金が不足した場合に、その資金の不足を補うために借り入れるもので、当該年度の歳入で返済します。

平成22年10月1日から平成23年3月31日までの期間においては、一時借入れは行いませんでした。

## 市有財産現在高

土地は、木崎地区排水機場用地や額田地区交流センター敷地の取得などにより増加しています。

建物、茨野市営住宅の解体などにより減少しています。

出資による権利は、茨城県信用保証協会への寄託金の増などにより増加しています。

債権は、自治金融資金預託金の回収および老人保健施設整備資金貸付金の返還などにより減少しています。基金は、農業集落排水整備事業基金への積立などにより増加しています。

## 水道事業会計

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計が導入されており、独立採算で運営しています。

収益的収支は、経常的な業務の収支を示すもので、主な収入は水道料金収入、支出は給水のための経費や人件費、減価償却費などです。収支状況は、黒字となっています。

また、資本的収支は、水道管の布設など建設改良費の収支を示すものです。収支状況は、赤字となっていますが、この不足分については、内部留保資金などで補うこととなります。

## 市債現在高（元金）

（単位：千円）

区 分	平成22年 9月30日現在	増 減	平成23年 3月31日現在
総 務 債	225,008	△30,350	194,658
民 生 債	65,647	△17,496	48,151
衛 生 債	1,294,900	△91,481	1,203,419
農 林 水 産 業 債	402,496	△22,816	379,680
商 工 債	0	0	0
土 木 債	1,418,701	△133,652	1,285,049
都 市 計 画 債	2,192,550	△100,477	2,092,073
公 営 住 宅 債	596,298	△33,229	563,069
消 防 債	283,765	△49,785	233,980
教 育 債	3,540,464	△202,734	3,337,730
転 貸 債	0	0	0
減 税 補 て ん 債	1,065,447	△72,908	992,539
臨時税収補てん債	116,514	△7,239	109,275
臨時財政対策債	5,354,064	1,155,364	6,509,428
県 振 興 資 金	46,553	△8,708	37,845
小 計	16,602,407	384,489	16,986,896
下 水 道 事 業 債	10,672,560	△341,795	10,330,765
農業集落排水整備事業債	3,277,381	△66,668	3,210,713
土地画整理事業債	807,926	8,928	816,854
水 道 事 業 債	1,097,828	△94,507	1,003,321
合 計	32,458,102	△109,553	32,348,549

## 市有財産現在高

区 分	単位	平成22年 9月30日現在	増 減	平成23年 3月31日現在
土 地	m <sup>2</sup>	1,730,098	7,953	1,738,051
建 物	m <sup>2</sup>	166,390	△889	165,501
有 価 証 券	千円	15,540	0	15,540
出資による権利	千円	80,296	460	80,756
債 権	千円	34,971	△22,238	12,733
基 金	千円	3,955,025	9,286	3,964,311

※水道事業会計分は含まない

## 水道事業会計

（単位：千円）

区 分	収 入	支 出
収 益 的 収 支	1,143,942	1,071,052
資 本 的 収 支	65,939	436,799

問い合わせ  
財政課 財政グループ  
(内線 5 2 2・5 2 3)